

第 5 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事録

日 時 令和元年 5 月 30 日（木） 17 時 30 分開会 19 時 30 分閉会

場 所 武蔵野市立中央図書館 3 階視聴覚ホール

出席者 委員 7 名

船崎委員長、赤羽委員、大津委員、金子委員、北本委員、  
桂委員、安形委員

事務局 10 名

鎌田図書館長、柏倉吉祥寺図書館長、目澤プレイス副館長、  
盛田課長補佐、加藤課長補佐、前田課長補佐、秋庭係長、  
岡野係長、佐々木主事、須藤主事

【司会】

定刻となったので、第 5 回武蔵野市図書館運営委員会を開会する。

まず、傍聴について。本委員会は会議を公開している。傍聴者がいた場合には、基準に基づき傍聴を許可していることをご承知おきいただきたい。

まず、今回使用する資料を確認する。

- ・ 会議次第（A 4）
- ・ 資料 1 前回の会議録
- ・ 資料 2

の 3 種類となる。

不足がある場合、お渡しするので挙手いただきたい。

それでは、次第に沿って、この後の進行は委員長にお願いしたい。

2 議事

【委員長】

それでは議題に入る。議題の 1、前回議事録の確認について。

事務局より説明をお願いします。

★ 議題 1 前回議事録の確認について

【図書館長】

それでは議題 1 前回議事録の確認につきまして事務局より説明する。

資料 1 をご覧いただきたい。

事前にお送りしているが、前回 4 月に開催した委員会での議論の内容を要録として取りまとめたものである。

今回の運営委員会で、確認いただきご承認をいただければ、委員会終了後にHPで公開したい。

**【委員長】**

本件について、質疑を行う。  
何かありましたらご意見等どうぞ。

(特になし)

**【委員長】**

ありがとうございました。  
それでは、この内容で協議内容として公開することとしたい。  
次の議題に移る。前回の配布資料の続きである。事務局より説明をお願いしたい。

**★議題2 図書館の運営について**

**【図書館長】**

それでは前回に引き続き、図書館事業に関する目標について説明をする。最初に前回修正の依頼をいただいた部分について説明をする。前回の資料を見ていただきたい。タイトルだが、目標・指標としていたところを目標に統一を行った。また、全て平成から令和へ表記の修正を行った。7の目標についてももう少し具体的な文言が入るとよいと指摘を受けたため、そのような形で直していきたいと考えている。誤字についても修正を行った。16の障壁として研修に出かけにくい環境に対して、目標に①を追記したいと思う。26の誤字の修正を行った。29のシステムの導入の時期にあわせ、○だったところを◎に変更した。37誤字の修正を行った。前回の指摘の部分は以上のような形で確認いただきたい。

では、本日は42番から説明を行いたいと思う。42番をご覧いただきたい。

**42「市民ボランティアや市民団体との協働の推進」**

これまで、障害者サービスやブックスタートなどのボランティア事業を行ってきたため、今後もその事業は継続して行っていきたい。ボランティア制度を行っている自治体の調査研究を行い、受け入れ可能な業務について受け入れ検討を行っていききたいという目標を立てている。

#### 43「大学図書館・専門図書館との連携の推進」

これまでもやっていたが、専門性のある資料の提供について大学図書館と、多様な資料の提供について国会図書館などの専門図書館との連携の推進をしていく。

#### 44「図書館庁内サービスの充実」

市職員向けの資料の貸出、レファレンスサービスについてさらに充実をさせ、PR等を行っていきたいと考えている。

(60まで説明)

#### 【委員長】

では、42番から60番までの説明に関して、質疑を行う。ご意見、ご質問をいただきたい。

#### 【委員】

55、56ではヤングアダルトという言葉を使っているが、57で青少年活動ということで、これはどのような意図で使い分けがされているのか。青少年活動支援というのはプレイスの地下の活動から来ているのか。

#### 【事務局】

そうである。

#### 【委員】

なんとなく、ヤングアダルトという言葉自体古ぼけてきている気がする。

#### 【事務局】

今回の計画はこれで表記をしておしまっており、そのまま持ってきてしまっている。青少年世代など直してもよろしければ直してもよいかもしれない。

#### 【委員】

強い要望ではないが、なんとなくヤングアダルトという言葉は古くなっているのかなあと思う。

#### 【事務局】

その辺はどうなのか。

【委員長】

そういえば古くなってきているような気もするが。

【委員】

図書館内の案内は全てヤングアダルトで出ていると思う。

【委員】

ヤングアダルトとは中学生と高校生を指すのか。

【事務局】

そうである。

【委員】

小学生はどうか。

【委員】

児童である。

【委員】

大学生は？

【事務局】

プレイスの青少年エリアは二十歳になった年度までということになっており、大学1、2年生まで使用ができる。

【委員長】

青少年はヤングアダルトより少し広く使えるという感じがする。

【委員】

児童というのは小学生という意味か。

【委員】

なんとなく、小学生以下である気がする。

【委員】

図書館のことをよく知らないと言われたらと書かれると小中高生のど

れが入るのだろうといつも資料を読んでいても分からない。対象を小中学生と書くことは図書館ではいけないことなのか。

【委員】

学校では、児童が小学生で生徒が中学生である。学校図書館では児童書が多いのでヤングアダルト向けの本がないかというところでもない。

【委員】

例えばヤングアダルトコーナーなどを書いてあるときにヤングの部分が消えてしまうと怪しげなコーナーになってしまう。

やはり図書館の業界用語だと思う。先ほどのご指摘でもあった通り、自分のことをヤングアダルトと認識している中学生高校生はあまりいないと思う。ミスマッチが発生している気もする。青少年の方がまだ自分のことだと認識している子は多いと思う。

【委員長】

この場合はヤングアダルトを使わなくても青少年でもよい気がするが。

【事務局】

分かりやすいので単純に計画の文言を使用している。

【委員】

ここでわざと大きく変更をしなくてもよいとは思いますが、館としてこの言葉を使い続けるのかというのはどこかのタイミングで考えていただきたい。

【事務局】

新たな課題をいただいたという形となる。

【委員】

本来は計画の時に聞かなくてはならなかったのかもしれないが、ユニバーサルデザインの点検という言葉がでてくるが、既に行っているユニバーサルデザインとは何か。机とか椅子のことか。それとも図書館独特のユニバーサルデザインというものがあるのか。

【事務局】

特に図書館独自のということではなく、一般的な意味でのユニバーサルデ

ザインと認めていただけて構わない。中央はある程度年数も経っているため、今後さらに点検を行っていきたいと考えている。

**【委員】**

図書館に限ったユニバーサルデザインではなく、ユニバーサルデザインの思想が入ったものを入れていくということか。

**【事務局】**

そうである。誘導の点字ブロックや、コミュニケーションボードといったようなものは導入をしている。図書館独自のものというところと拡大読書器なども広く言えば入るかもしれないが、基本的にはハード面で不便なところがないかという部分で点検をしていきたい。市の方針もあるため、市の方からも必ず毎年点検の依頼が来ている。そこで毎年やっている。工夫できる点や漏れているところがないか確認を行っていきたい。

**【委員長】**

市の方で指摘するといったこともあるのか。

**【事務局】**

市の方でユニバーサルデザインを所管している課があるため、そこからの調査が毎年来ている。

**【委員】**

51 の子ども読書活動推進計画について。目標の一番最後の「推進計画を改訂します」の「を」が抜けている。

ここでいう子どもというのはいわゆる児童というくくりでよいのか。

**【事務局】**

ここでの子どもはかなり広い。幼児から中学生くらいまでに焦点を当てた計画になっている。

**【委員】**

読書指導やブックスタートなどについても記載をするのか。

**【事務局】**

そのようなものもきちんと計画内で位置づけていく。基本計画の中にも入

っているが、さらに子ども読書活動推進計画の中でも位置づけていく。

**【委員】**

武蔵野市の小学生は本当に本をよく読んでいる。読書の動機づけでも保護者の方もとても多く参加している。保護者への質疑応答も30分の予定が1時間になったりという話があったり、かなり興味を持ってもらっている。しかし、同じ子どもも中学生になったとたんに本を借りなくなっているという現状もある。

**【事務局】**

武蔵野市の特徴のようである。小学生の不読率というのはかなり低い。しかし、前回の調査によると中学生は全国平均より高いようで、本を読まない割合が多いようである。そのようなことも今度の計画の中では課題の一つとして検討していきたい。

**【委員】**

是非とも中学生の本離れに関しても検討に加えてもらえるとありがたい。

**【委員】**

50番について。②～④までに難易度が入っていない。

**【事務局】**

漏れていたようである。②は後で追加を行う。③は検討自体は難しくないと思うが、実際に運用していくのはかなりハードルが高いと思っている。その辺も勘案して中でよいかと思う。実際に良い案が出せるかという所がなかなか難しいかもしれない。

**【委員】**

③はやはり気になっている点である。検討のみの項目なのだが、発信に関して記載がなく、〇もその後何もなくなってしまう。

**【事務局】**

システムの更新と合わせて行う必要がある部分である。システム等の制約もあり、できるかということもあるかと思う。

**【委員】**

システムが来年度変わってから、設定されていくということか。

**【事務局】**

具体的な運用がすぐできるかどうかもあると思う。ただ、システムの更新は来年度行う予定のため、ツールはシステムの中に取り込めるかどうかは更新の中で決まってしまう。一応形ができて、それを実際に例えば SNS 発信する仕組みが内部の中でできるかといったようなことはまた課題として出てくるとは思う。

**【委員】**

SNS は仕組みとしてきちんとシステムに入れないといけないようなものなのか。

**【事務局】**

Facebook や Twitter など、クリックすればそっちへ行くといったようなものであれば大したことはない。

例えば図書館の蔵書検索からさらにつなげてといったようなことはシステム更新との連携が必要になる。そういったようなこともまた検討はしていきたいと思う。費用面のこともあるため、それがはたしてどれだけ使われるようなものなのかも考慮して検討をしていくこととなると思う。

**【委員】**

むしろその Facebook や twitter をやること自体は図書館としては許されているのか。

**【事務局】**

問題ない。実際にプレイスと吉祥寺では行っている。発信の頻度となるとなかなか厳しいところはあるが。

**【事務局】**

プレイスは図書館だけではなく、様々なイベントを行っているので、頻度は少なくはない。吉祥寺は開館してまだ事業をこれから組んでいくというタイミングのため、プレイスに比べればそこまでまだ頻度は多くない。



**【委員】**

何を発信するのか。発信するものがないならやらなくていいのか。

**【事務局】**

図書館員のつぶやきのようなものだときっとフォロワーも増えていくだろうと思うのだが、そうするとそれ専任くらいの人がいないと行えないが、そこまでの体制はまだ取れていない。現状はそのような期待というか、課題はある。

**【委員】**

システムを更新する時に図書館でこのように使いたいといった希望は出せるのか。

**【事務局】**

図書館の方で仕様は組めるので、希望は出せる。図書館のシステムはいくつかのベンダーが作っているが、基本形はやはりそれぞれ決まっている。あまり修正をしないで入れていきましょうというのが市全体の方針としてある。図書館として使いたいものに一番近いシステムに決めていく。その上でここは直して欲しいといった要望は出していく。できるだけ可能な修正を行って良いシステムを入れていきたいと考えている。

映画会の方は低でよいかと思う。

SNS もこちらの方でまだ考えがまとまっていないところもあり、今情報を集めているところであるが、このシステムではこのようなこともできるという提案をもらい、ではこちらでどのようなことをしていこうかということからの検討段階かなと思う。このようなことをしたいという部分が上手く固まっていないために目標がまだうまく書けない。その部分に関しては振り返りの中でこのようなことを検討しましたといったようなことを書ければよいと思っている。

**【委員】**

45 から 49、62 から 66 に飛んでしまうのはなぜか。

**【事務局】**

同じ項目を 2 箇所でも掲している部分は省いている。計画を見ていただくと再掲となっている。

**【委員長】**

他に何か意見等ある方。

～特になし～

【委員長】

それでは、引き続き、61から事務局より説明をお願いしたい。

【図書館長】

それでは、61より説明する。

(61～70までの説明)

【委員長】

これまでのご説明に関して、質疑を行う。ご意見、ご質問をどうぞ。

【委員】

62の事業名が「レファラル」になってしまっているが正しくは「レフェラル」ではないか。

【事務局】

修正する。

【委員】

今図書館でPCで検索できるものは1台しかないのか。それは予算の問題は別にして、物理的に1台しか置けないのか。増やせるけど増やさないのかどうか伺いたい。

【事務局】

当初の計画が1台であった。システムの一環として入っており、図書館システムの一部という位置づけである。これもシステム更新に合わせて台数等も検討していきたいと思っている。

【委員】

武蔵野プレイスはもっと台数が多いと思うが、プレイスがシステムを入れる時に台数を増やしたということか。

【事務局】

そうである。10 台の他に 3 階にもある。プレイスの方はそのようなことを取り入れた設計になっている。吉祥寺の場合はスペースの問題で少し厳しい。貸出用のタブレットの運用が有効であるということであれば合わせて検討していきたい。

**【委員長】**

その他なにかある方。

～特になし～

**【委員長】**

それでは、続いて資料 2 の「重点取組に関する目標」に移る。事務局より説明をお願いしたい。

**【図書館長】**

資料 1 については本日いただいた意見を元に修正を行い、また次回お示しをしたい。資料 1 を重点取組で集めたものが資料 2 の「重点取組に関する目標について」となっている。

資料 2 をご覧いただきたい。

重点取組の表題が一番上にそのまま入っている。その下の事業名、事業概要についての 1 の利用困難者に対する配本サービスというところが資料 1 の 1 の項目がそのまま入っている形となっている。この項目に対して①②と目標を立てているが、それを両方合算し、右に記載をしている。若干◎と○が入り混じっているような形になっている。こちらの内訳については資料 1 を確認していただきたい。◎だが、一部完了などと表現されているものもある。中長期目標に関しては計画のリード文を主に記載している。前期 5 年間でこの目標を総括していくと考えている。これを毎年度まとめて表示をしていこうと考えており、資料 1 については項目が多いため、教育委員会等への報告については資料 2 の方で行っていきたいと考えている。この表自体の作り方についてはまた意見をいただきたい。一つ一つ説明すると説明がかぶってしまうため、ご確認いただければと思う。今回意見をいただき、次回確定をしていきたいと思う。資料 2 の詳細については資料 1 の中をそれぞれ見ていただきたいと思う。

**【委員長】**

これまでのご説明に関して、質疑を行う。ご意見、ご質問があれば。

**【委員】**

先ほどの資料1について質問しようと思って忘れていた部分があった。  
49の市外登録者のサービス内容の見直しについて。具体的に適切なサービス内容の見直しというのはどのようなことをイメージしているのか。

**【事務局】**

とりあえず考えられるのは貸出冊数と、予約冊数に差をつけること。今でも市内と市外で若干の差はつけている。また、リクエストは市内の方に限るということは行っている。差がついているサービス内容はもうすでにあるため、さらにやるとなると貸出冊数と予約冊数に差をつけるといったようなことが一般的に考えられるかなと思う。プレイスに関しては市民専用席を作るなどは少し難しいかなと思う。地元の意見としてはよその人ばかりで行きづらいという声もある。すぐに見直しのできる内容ではないが、委員会で意見をいただきたいと思う。貸出冊数や予約冊数を減らすことは、もう一つの課題となっている複本の数を減らすことともリンクするため、合わせて考えていきたいと思う。

後程時間があれば資料を提示したいと思う。

**【委員】**

重点取組で3-1から説明があったが、まとめた根拠は計画の中のどこかにあるのか。

**【事務局】**

計画の中の重点取組から抜き出してきた。

**【委員】**

計画の中から適当に抜き取ってきたのか。

**【事務局】**

計画の43ページからリンクさせている。

**【委員長】**

中長期目標の部分の文書は新たに作成したものか。

**【事務局】**

計画の中から持ってきている。

**【委員】**

先ほども出たヤングアダルトという言葉がやはりあまりピンと来ない。中長期目標の中で「高校生、大学生、20代、30代、高齢層」という具体的な文言が書かれている。それが計画の中ではどれに該当するのかなと思った時にヤングアダルトや児童だと分かりづらい。

**【事務局】**

振り返りの内部評価で今のようなご意見を意識しながら書き込んでいきたい。ヤングアダルトや青少年などの分け方も図書館サービスとしてここだけとしてしまうのはよくないかなとも思う。

**【委員長】**

それでは、よろしければ「その他」に移りたい。事務局より視察の候補地について説明をお願いしたい。

**【図書館長】**

視察については図書館の方で行きたいところという前回の話があったので、中央図書館の運営形態についてという大きな検討事項があるため、候補地としては運営形態が異なる、調布市（全館直営）、文京区（中央館のみ直営、分館指定管理）、千代田区（全館指定管理）を考えている。時期としては、夏休み前の7月上旬を予定している。日程調整については事務局の方で先方と調整して連絡をしたい。視察先については今言った場所の中でどうか。このうち、2か所に1日で行けたらと思う。

**【委員】**

交通費はどうなるのか。市で出してくれるのか。

**【事務局】**

確認する。

**【委員】**

市民公募委員の任期は9月で切れてしまう。私も一番気になっている運営形態については次の委員に引き継がれることと思うが、その時に任期の切れてしまう私たちが行ってもあまり意味がないのではと思ってしまう。それよ

りは次の人たちが見に行った方がいいと思う。

**【委員】**

前日も話であったが、今まで2年間私たちも計画を作ってきて図書館に関する見識をつけている。そのような目で視察に行くのはよいと思う。私たちだけでなく、図書館の職員も行くのであればそれでよいと思う。公募委員になったばかりの時に視察に行っても何も分からないと思う。職員さんが活かされればよい。2年間で得た知識で質問等できたらよい。

**【事務局】**

行って何かしらの成果品を作れば次の委員にも引き継げるかなと思う。特にここがいいといったような場所はあるか。

**【委員】**

千代田区の委員をやっていたことがあり、千代田区はそれなりに知っているので、他の場所がよい。ただ、委員の方が行って面白いのは千代田区かなと思う。また、23区の多くのところが指定管理に出している中で、文京区が中央館を直営にしているのはどうしてなのかというのは気になる。

**【事務局】**

では、調布市と文京区で調整をしたいと思う。

**【委員長】**

千代田区は委員をやってみて、どのように感じたか聞きたい。

**【委員】**

指定管理にしてあれだけマスコミに取り上げられて、うまくいっている例だと思う。一方で本来はライバルであった会社が今一緒に運営しているという現状を考えると、指定管理に出した側の意見を聞くのはよいと思うが、今運営している側の話はそんなに。ただ、図書館としては非常に面白いと思う。

**【委員長】**

調布市の図書館は何度も行っており、非常に高くかっている。

【委員】

昭島市が全てを指定管理に出していると思う。

【事務局】

4月から指定管理に出している。来年新館も立つ予定だそう。また新しく見に行くところの候補としてはいいかもしれない。武蔵野市の場合は、指定管理に出すと言っても、一般の民間業者に出すのではなく、市の財援団体に出すという選択肢がある。

【委員】

武蔵野プレイスは脚光を浴びている施設だと思うが、視察に来る件数は年間どのくらい受け入れているのか。

【事務局】

多い時は年間100件を超えていたが、去年は50件程度だったと思う。おとしは70件。本日も視察の対応をしてきた。

【委員】

まだ見たいという声は多いのか。

【事務局】

まだ多くいただいている。本日は韓国の方の視察対応をした。

【委員】

どのような形でプレイスの視察の対応はしているのか。

【事務局】

最初にプレイスのコンセプトを簡単に説明し、その後実際に1フロアずつ説明しながら回って見てもらう。戻ってきてから質疑応答をし、だいたい1時間半程度で終了。

【委員】

対応の方針はプレイスとしては週に1回など決めているのか。

【事務局】

来館者が多いため、土日祝日はお断りをしている。休館日もお断りをして

いるので、月火木金の中で、2週間前にはご連絡をいただいている。

【委員】

何人で来るのが多いのか。

【事務局】

基本的に5人単位で来る方が多い。一人で案内できるのが10人程度なので、20人で来た場合は職員2人で館内案内している。

【委員】

韓国の方はどのようにしてプレイスを知って来たのか。

【事務局】

韓国に限らず日本各地からも複合化というコンセプトで視察に来られる方が多く、韓国からの視察が多いのはロコミではないかと思っている。

【委員長】

視察の候補地はどうするか。

【事務局】

では、文京区と調布市で聞いてみたいと思う。日中だと学校の先生は難しいか。

【委員】

日中は難しい。

【事務局】

7月上旬頃で、2か所行けるようなら午前中に1か所、午後に1か所行きたいと思う。

視察の日程については、視察先の都合を確認したうえで候補日を上げ、メールで各委員の方には送りたいと考えている。一番多くの方が参加できる日程を選び、その日に決めたい。

【委員長】

それでは、他に事務局の方から何かあるか。



【事務局】

先ほどの市民サービス水準について、資料の頭出しをさせていただきたい。

平成 29 年に八王子市が調査を行ったものがあったので参考までに見ていただきたい。参考資料 1 は市内と市外で差があるかという問いで、だいたいどこの市も差がある。武蔵野市の対応は現段階ではそこまで他市と変わらないかなと思う。例えば貸出冊数は日野市は 6 分の 1 といったようなことも行っている。日野市は市民の貸出冊数は 30 冊なので、6 分の 1 といっても 5 冊借りられる。

裏面の方は近隣市のサービス基準の差である。ここもそれほど差はない。その下の複本数は上限を聞いた調査となっている。30 冊という武蔵野市が飛びぬけている。ただ、30 冊となっているが、30 冊ある本のタイトルもせいぜい 6 タイトル程度である。資料 2 については登録者の数を近隣市のものを少し示したものである。武蔵野は市民の割合が 52.6%。貸出冊数に関しては三鷹市しかデータがなかった。やはり武蔵野市の貸出の中では市民の割合が低くなっていることが分かる。こういった他市が既に行っている調査はあるが、今後検討していくにあたって武蔵野市でも調査をしたいと思っている。どのような調査がいいのではないかという意見があれば言っていただきたい。

【委員】

在勤の方はどちらに入っているのか。

【事務局】

市外である。その辺も割り引かないといけないかなとは思っている。在勤・在学の方は通常の近隣の方とは違ってもよいかなとは考えている。

【委員】

武蔵野市の登録者数が多いように見えるが、プレイスができる前もこのような数字だったのか。

【事務局】

プレイスができるから大きく増えた。

【委員】

プレイスができるから市外の方は大きく増えたのか。

【事務局】

増えたと思う。吉祥寺図書館ができてからも市外の方の登録は増えたと思うが、プレイスができてからさらに加速したと思う。

【委員】

在学、在勤の方も含めた表にしてもらえるとさらによいと思う。

【事務局】

在学、在勤も市民の扱いということにすると市民の割合は増えるとは思う。

【委員】

三鷹市は武蔵野市の登録は少ない。

【事務局】

三鷹市はどちらかと言うと調布市に近い方に図書館があるので。

【委員】

私は三鷹市の駅前図書館を非常によく利用しているが、武蔵野市の人に聞いてもあまり知られていない。

【事務局】

このような話題をしなくてはいけないのは武蔵野市ぐらいかなと思う。このままで行くと市民の割合が5割を切ってしまう。

【委員】

貸出期間はどこもだいたい2週間なのか。

【事務局】

どこもだいたい同じであると思う。2週間というところが基本だと思うが、3週間あるいは新刊本は1週間などとしているところもあるかもしれない。

【委員】

その場合はシステムを変えなければいけないと思う。

【委員長】

リクエストを市内在住のみにしたのはいつだったか。

【事務局】

平成 26 年から。

【委員】

図書館カードの有効期限が 3 年というのは一般的なのか。

【事務局】

定期的に住所の確認をしているところが多いと思うがそれが 3 年なのかどうかは分からない。

【委員】

どのタイミングで確認しているのか。

【委員】

更新してくださいとの文言がシステム上で出てくる。

【事務局】

図書館カードにも記載してある。

【委員長】

ありがとうございました。その他、事務局の方で何かありますか。

【事務局】

それでは次回の会議の日程について。次回の会議は、6 月 24 日 5 時半から武蔵野プレイス 4 階フォーラム B にて開催する。

【委員】

次回はどのような内容になるのか。

【事務局】

資料 1 と資料 2 を修正したものを確認していただく予定であったが、本日修正点がそこまでなかったので、今日頭出しした資料に関してなど少し意見をいただければと思う。

【委員長】

それでは全体を通じて何かご意見・質問等はないか。

**【事務局】**

1つだけ。蔵書方針の見直しを行うということで、本市の蔵書方針の評価をどのように行えばよいかを考えている。その辺でご存じのことがあれば教えていただきたい。

**【委員】**

蔵書構成について評価を行うということか。

**【事務局】**

そうである。蔵書のここが弱い、強いなどを評価してもらえれば。評価を行っている市町村はあまり多くはないと思うがこれからやっていく必要はあると思っている。評価してもらえる専門家などがあれば紹介していただきたい。

**【委員】**

以前、千代田区の方で評価をしたことはある。できないわけではないが、今色々と立て込んでいる。貸出データなどと一緒にお渡しいただければできるとは思う。

**【事務局】**

是非お願いしたい。

**【委員】**

千代田区でやった時は全ての書誌データと匿名化されているものの利用統計をいただいた。かかる期間はどのくらい分析しやすいデータでもらえるかにもよる。

**【事務局】**

もしできないようであれば他に何か紹介をしていただければ費用なども工面したいと思っている。

**【委員】**

やるのであれば自分で見たいなという気持ちはある。

【事務局】

一度システム担当と一緒に打ち合わせをさせていただく。

【委員長】

他に何かあるか。

～特になし～

【事務局】

以上をもって、第5回図書館運営委員会を閉会する。